

| | |
|------------------|-----------------------------|
| 要 望 事 項 | 2 政策企画局（総務局・財務局・都市整備局・下水道局） |
| | （１）下水道事業一元化に係る計画の早期策定 |

（要 旨）

都における下水道事業一元化に向けた計画について、早期に策定されるとともに、公共下水道のみならず、下水道類似施設も対象とされたい。

（説 明）

「経済財政運営と改革の基本方針２０２０」（骨太の方針２０２０）において「下水道の広域化計画の実現に向け都道府県が広域的な地方自治体として、関係市町村と連携体制を構築し、主体的に取り組むよう求める」と明記された。

都は、「下水道事業の広域化・共同化検討会」において、計画の検討をより一層推進し、一元化に向けた計画を早期に策定されたい。また、住宅が密集していない地域において利用している下水道類似施設についても、一元化の対象とされたい。

| | |
|------------------|----------------------------|
| 要 望 事 項 | 2 政策企画局（総務局・都市整備局・環境局・港湾局） |
| | （2）小笠原空港の開設に係る整備計画の早期策定 |

（要 旨）

小笠原空港の開設に向け、空港整備に係る計画を早期に策定されたい。

（説 明）

都は、小笠原諸島が日本に復帰した当初から検討されている小笠原空港について、精力的に調査・検討を重ね、紆余曲折はありながらも、空港整備に係る計画案の検討が進められているが、現在においても、その開設の目途は付いていない状況にある。

都は、平成27年度に設置された「小笠原航空路に関する検討会議」において、実務者による計画案の検討をこれまで以上に推進し、「小笠原航空路協議会」の議を経て、計画を早期に取りまとめられたい。